

序文

透析療法を受ける患者は、腎臓の機能不全により生命の維持が困難となつておるとともに、多くの合併症も有している。そんな状態の患者が治療を受ける透析療法の現場では、治療を安全に行うために臨床工学技士や医師、看護師、管理栄養士、診療放射線技師、メディカルソーシャルワーカーなどの多職種が連携を深め、チームで医療の質を高めなければならない。また、透析療法は週3回、長期にわたる治療であるため、患者への心理支援や細かな生活指導が必要であり、医療スタッフには高いコミュニケーション能力も求められる。

臨床工学技士は、透析療法の現場でなくてはならない存在だが、養成課程では「臨床」と「工学」を短期間で学ばなくてはならず、臨床実習期間も、医師や看護師などに比べ短期であることから、就業後の研鑽が必要になる。

本書は、臨床工学技士が医療現場で実際に行っている技術(手技や手順)を、動画と写真をメインに解説する「臨床工学技術ヴィジュアルシリーズ」の第1弾となる血液透析編である。動画や写真で技術を解説する他職種向けの書籍は多々あるが、臨床工学技士対象の書籍は「初」である。これまでこのような書籍がなかったのは、臨床工学技士が扱う医療機器が多種多様であり、機種により手技や手順が異なることが理由にあげられるだろう。透析療法の現場でも、さまざまな医療機器や医療材料が使用されているが、根本となる「その手技・手順を行う根拠」は同じである。本書／本シリーズは、単に手順を覚えるためではなく、根拠を踏まえた正しい技術(手技・手順)の修得に役立ててほしいという願いの下、企画された。入職したばかりの臨床工学技士や、今一度、自分の技術を振り返ってみようという臨床工学技士に、ぜひ役立ててほしい。

2021年6月

偕行会グループ 臨床工学統括部

田岡 正宏